

ネイルポット 幼苗植栽導入工

NETIS登録
QS-050018-A

小さく植えて大きく育てる

ネイルポットは、分解性リサイクルポットに国産樹種から育てた幼苗を装着した樹林化資材です。

幼苗を用いたネイルポットは、大きな植え穴を掘る必要が無い為、法面での植え付け作業が向上し、効率的な植栽導入が可能になります。”小さく植えて大きく育てる”これがネイルポットの特長です。

従来、植栽導入が困難とされてきた岩盤法面や無土壌地では、パイオ・オーガニック工法との併用により、早期樹林化が可能になりました。また、国産樹種に限定している為、外来植物による植生破壊の心配もありません。

保有している国産樹種は、40～60種、寒冷地から温暖地まで様々な立地条件で自然再生を図る事が可能です。

☆一般植栽木との生育比較試験☆

植栽初期



植栽2年後の生育状況



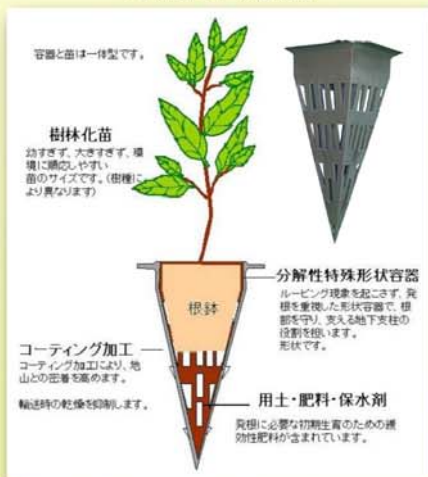
植栽3年後の生育状況



根系の発達



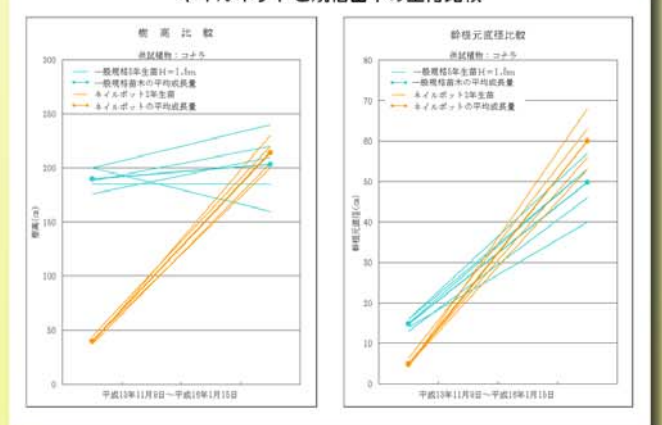
ネイルポットの仕組み



コナラ



ネイルポットと規格苗木の生育比較



☆ネイルポットは根系が違う☆

一般ポットに見られるルーピング現象は、根系の発達を弱め、植物の生育を停滞させます。

ネイルポットの根系は、主根を中心に細根を発達させ健康な幼苗を育てます。

ネイルポットの根系



一般ポットによるルーピング現象



☆自然再生施工事例☆

施工前



施工後4年

